令和元年度　学校だより　３月号

切磋琢磨

令和２年２月28日
恵那市立恵那東中学校
恵那市大井町　1073-1
TEL　(0573) 25-5261

恵那東中学校　黄金期の「絆の日」

校長　伊藤勝彦

2/21、「絆の日」は、第１部「3 年生と語る会」を教室で、第２部「生徒会の発表」、第３部「3 年生へのメッセージ、各学年の発表」を集会として体育館で行われました。一年間の全校生徒の成長ぶりが見事に表れた非常に質の高いすばらしい会や集会でした。集会で生徒が語る場面では、多くの生徒の言葉から「よりよい恵那東中学校にしたい」「さらによい学年にしたい」という「よりよいものをめざしたい」という思いが伝わってきました。今年度、黄金期をめざし、少しでもよりよい恵那東中学校にしようという生徒たちの願いが「恵那東中学校の校風」となってきつつあることを実感した「絆の日」でした。体育大会優勝旗のプレゼンターとしてみえた 4 年前のＰＴＡ会長西山さんは、「発表も合唱もレベルアップしています。とくに、生徒の聞く姿勢がすばらしい」と話されました。誇れる事実を高めてきた第７ステージ『誇』の出口として、「自分たちの誇れるもの」を言葉だけでなく、姿として表すことのできた集会でした。

第１部「3 年生と語る会」では、勉強のこと、部活動のこと、体育大会など行事のこと、仲間とのかかわり、家族やまわりの人への感謝など、3 年間で学んだことや成長したことを語りました。なかには、失敗から学んだことを語る生徒もいました。聞いていた 1,2 年生にとっては学ぶべきことの多かった語る会だったと思います。

第 2 部「生徒会の発表」では、今年度「東中の黄金期を創る」ことを目標にして取り組んできたこと、日常生活の質にこだわってきたことが、各委員会から「誇れる事実」として示されました。東中の３本柱「挨拶・合唱・無言清掃」をさらに太い柱にしたいという語りや４本目の柱に「授業」を入れたいという語りは、恵那東中学校をさらによくしたいという意欲の表れだと思いました。

第３部「3 年生へのメッセージ」では、2 年生の 3 年生への感謝の気持ちと次年度「学校の顔」となる自分たちの決意がよく表れた語りになっていました。「1 年生の発表」は、自分たちのよさと課題を明確にした GKG(学習・環境・合唱)の取組が発表されました。この取組の成果は、最近の１年生の成長した姿によく表れていると思いました。2 年生の発表では、「活動の意味を理解して取り組んだ」という言葉が象徴されるように、この１年間の成長ぶりを感じました。とくに後期に入ってからの伸びは目を見張るものがありました。間違いなく来年度も「東中の黄金期」は続くだろうと思った発表でした。3 年生は、「東中の顔」、全校のリーダーとして、言葉だけでなく具体的な姿で示し続けてきました。「東中の黄金期」が到来したのも、まぎれもなく 3 年生の功績だと思いました。どの発表も 4 月から誇れるものにまで磨き上げてきた事実に基づいた発表でした。それが確かな成長を感じさせることにつながったのだと思います。さらには、その歩みを振り返り、自分たちを冷静に見つめ、課題として明確にしている点、そこから次への方向性を示している点にもすばらしさを感じました。今年度、１年生、2 年生、3 年生が恵那東学校の中で、それぞれの役割を果たし取り組んできたからこそ、今の恵那東中学校があります。そして、そのことを示したのが「絆の日」だったと思います。平日のお忙しい中、多くの保護者の方にご参観いただき誠にありがとうございました。いよいよ、卒業式、修了式と最終の段階に入ります。引き続き、恵那東中生徒へのご支援よろしくお願いします。

2 年生の発表

■体育大会優勝旗、ありがとうございました

恵那東中学校の生徒の活躍やがんばりを応援したいと昭和 56、57、58、59 年度の卒業生有志 57 名の方々から体育大会の優勝旗を寄贈していただきました。気持ちも新たに生徒たちはがんばると思います。「絆の日」に、プレゼンターとして西山隆史さんにお越しいただき、代表生徒にわたしていただきました。

西山さんから生徒会長北原さんへ